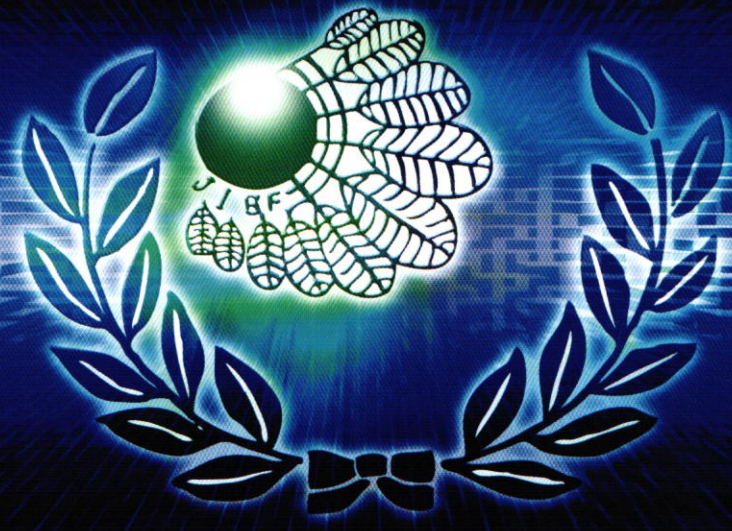
平成26年度　第２回　文部科学大臣杯争奪

全日本学生バドミントン ミックスダブルス選手権大会

期日：2014（平成26年）8月2日（土）～3日（日）

会場：日本体育大学横浜健志台キャンパス米本記念体育館

All Japan student badminton mixed doubles championship





主催：公益財団法人　日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟
主管：関東学生バドミントン連盟、神奈川県バドミントン協会
後援：文部科学省、神奈川県、神奈川県教育委員会、
公益財団法人神奈川体育協会、横浜市、横浜市体育協会
協賛：ヨネックス株式会社、ミズノ株式会社、薫風スポーツ株式会社、
株式会社ベースボール・マガジン社



世界で勝ち抜きたい。強い相手と戦いたい。そしてさらなる高みを目指していく。そんな想いが、大きな前進を生み出してきた。
進化は止まらない。挑み続ける限り。新しいツアー・ラケットは、早川選手と共に世界へと立ち向かう。目指すのはただ、頂点だけ。

CALIBER TOUR　LuminaSonic TOUR

CALIBER S TOUR
73JTB50209　4U5:23~27 lbs
NEW 8月発売 本体価格 23,000 円＋税［中国製］

CALIBER F TOUR
73JTB50109　3U5:24~30 lbs
NEW 8月発売 本体価格 23,000 円＋税［中国製］

LuminaSonic S TOUR
73JTB51201　3U5,4U6:19~24 lbs
NEW 8月発売 本体価格 23,000 円＋税［中国製］

LuminaSonic F TOUR
73JTB51101　3U5:22~26 lbs
NEW 8月発売 本体価格 23,000 円＋税［中国製］

記載価格は、消費税抜きのメーカー希望小売価格です。　mizuno.jp　0120-320-799

早川賢一（日本ユニシス）

目　　次

第２回　文部科学大臣杯争奪

全日本学生バドミントン ミックスダブルス選手権大会

2014.8.2（土）～8.3（日）

大会次第	P 02
ごあいさつ	P 03
大会役員	P 11
競技役員	P 13
大会要項	P 14
競技・審判上の注意	P 16
大会日程	P 18
タイムテーブル	P 19
トーナメント組合わせ	P 20
選手名簿	P 21
秩父宮・秩父宮妃　大会結果	P 22
有資格者	P 23
過去の成績	P 24
全日本学生連盟歴代委員長	P 25
主管学連紹介	P 26
会場案内	P 27
大会運営規定一部変更	P 28

大　会　次　第

Ⅰ.代表者会議　8月2日(土) 9：00～　日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館内視聴覚室

1. あいさつ	大会委員長	全日本学生バドミントン連盟委員長	山口　颯
2. 競技・審判上の注意	競技役員長	日本バドミントン協会公認レフェリー	宮路秀憲
3. 棄権・訂正	大会副委員長	関東学生バドミントン連盟委員長	西　正記
4. 諸注意		関東学生バドミントン連盟副委員長	清川里香
（1）試合会場について			
（2）その他			

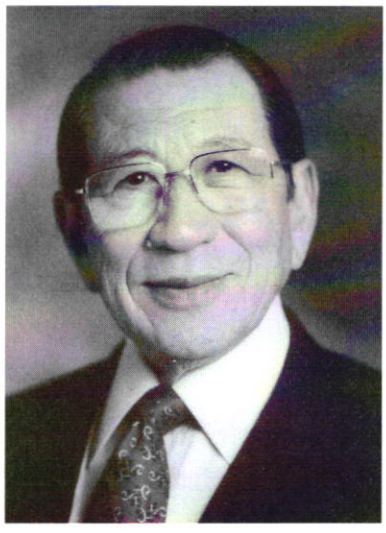
Ⅱ.開　会　式　8月2日(土) 10：00～　日本体育大学健志台キャンパス　米本記念体育館

1. 開式通告	司　会	関東学生バドミントン連盟常任委員	清川里香
2. 開会宣言	大会委員長	全日本学生バドミントン連盟委員長	山口　颯
3. 開会の挨拶	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	関根義雄
4. 歓迎の挨拶	大会副会長	関東学生バドミントン連盟会長	宮崎重勝
5. 選手宣誓		早稲田大学	古賀　輝
		関西学院大学	樋口亜依美
6. 閉会通告	司　会	関東学生バドミントン連盟副委員長	清川里香

Ⅲ.閉　会　式　8月3日(日) 決勝戦終了後　日本体育大学健志台キャンパス　米本記念体育館

1. 開式通告	司　会	関東学生バドミントン連盟常任委員	井出陽子
2. 成績発表	競技役員長	日本バドミントン協会公認レフェリー	宮路秀憲
3. 表彰	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	関根義雄
4. 閉会の挨拶	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	関根義雄
5. 閉会宣言	大会副委員長	関東学生バドミントン連盟委員長	西　正記
6. 閉会通告	司　会	関東学生バドミントン連盟常任委員	井出陽子

ごあいさつ



（公財）日本バドミントン協会
会長 **綿貫民輔**

第２回「全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」を昨年に引き続き平成２６年８月２、３日にスポーツの伝統校である日本体育大学健志台キャンパスにおいて開催されますことは私の深い慶びとするところであり、心よりお祝い申し上げます。

本大会は、参加選手は少数精鋭ですが学生のトップクラスの選手だけが参加できる大会です。

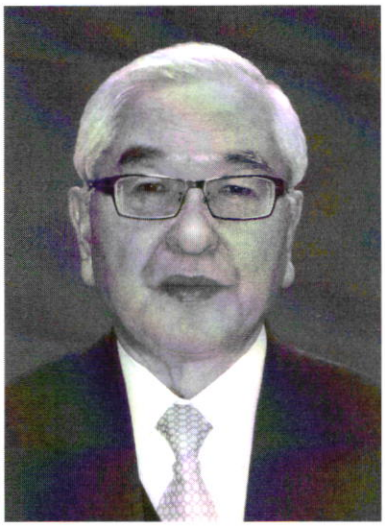
現在日本のバドミントンの競技力はたいへん高くなり、トマス杯・ユーバー杯では日本の念願である男子団体優勝を達成してくれました。

しかしながら、日本のミックスダブルスは世界レベルには、もう一歩という状況だと思われます。

本大会は日本のミックスダブルスの競技力向上に有効な大会になると思います。参加選手の頑張り・活躍を期待します。

最後になりますが本大会の開催にあたり格別なご支援、ご協力を賜りました関係各位に深く感謝とお礼を申し上げご挨拶といたします。

ごあいさつ



全日本学生バドミントン連盟
会長 **関根義雄**

第２回「全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が公益財団法人日本バドミントン協会の主催大会として、平成２６年８月２日、３日に日本体育大学健志台キャンパスにおいて開催できますことは、誠に慶ばしいかぎりでございます。

本大会は、昨年度の全日本学生バドミントン選手権大会ダブルスにおいてベスト３２以上の選手、及び各地区学生連盟、全日本学生連盟からの推薦選手が出場できる大会でベスト４以上のペアーには、全日本総合バドミントン選手権大会本戦に、ベスト８以上のペアーには同大会の予選に出場資格が与えられます。

５月１８日～２５日までのインドのニューデリー市で開催されました、第２８回トマス杯争奪世界男子団体バドミントン選手権大会で夢であった優勝を果たしてくれました。日本のバドミントンの競技力の向上は世界が認めるところですが、ミックスダブルスの競技力はもう一歩です。本大会を開催することで学生界のミックスダブルスの競技向上、そして全日本バドミントン総合選手権大会に出場し頑張り、学生選手の活躍でミックスダブルスを盛り上げて頂きたく存じます。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、多大なご支援、ご協力を賜りました関係各位の皆様に感謝申し上げご挨拶と致します。

ごあいさつ



全日本学生バドミントン連盟
委員長 **山口　颯**

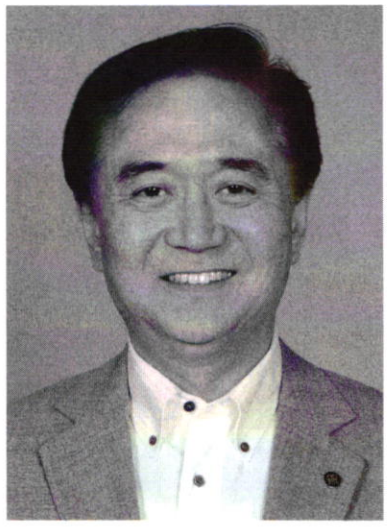
文部科学大臣杯争奪第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会がここ神奈川県横浜市で開催されることを、誠に慶ばしく思います。

本大会は昨年の全日本学生バドミントン選手権大会のダブルスベスト３２を勝ち抜いた選手、各地区の推薦を受けた選手、１年生では全日本高等学校バドミントン選手権大会でベスト４を勝ち抜いた選手が推薦され一堂に会し、学生バドミントン界での日本一を決める名実ともに権威のある大会です。選手の皆さんは正々堂々とプレーしていただきたいと思います。

私たち全日本学生バドミントン連盟といたしましては、選手の皆様が全力で試合に臨めるよう努力する次第であります。練習の成果を遺憾なく発揮され、どのコートにおいても熱戦が繰り広げられることを期待しております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、多大な支援、ご協力いただきました関係者様に厚く御礼申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



神奈川県知事

黒岩祐治

「第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が本県において盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また、全国各地からお集まりの選手並びに関係の皆様を、900 万県民を代表して心から歓迎いたします。

バドミントンは、子どもから高齢者まで、ライフスタイルに応じて楽しむことのできる生涯スポーツとして、また、オリンピックの正式競技にも採用される競技スポーツとして、多くの皆様に親しまれています。

本年５月に開催された世界国別団体戦「第 28 回トマス杯」での男子の優勝や「第 25 回ユーバー杯」での女子の準優勝という歴史的快挙は、未来のバドミントン選手を夢見る多くの子どもたちに、大きな夢と希望を与えてくれました。

こうした中、学生バドミントンのミックスダブルス日本一を決めるこの大会が、神奈川において開催されることを大変嬉しく思います。

ミックスダブルスは、男女がそれぞれの弱点を補い合い、協力することで、お互いの最大限の力を引き出せることが魅力の種目だと伺っております。

選手の皆様、日頃の練習の成果を存分に発揮し、華麗な連携プレーで勝利を目指してください。そして、大会を通じて出会う多くの仲間達との親交を深め、充実した大会にしていただければ幸いです。

最後になりますが、大会の開催にご尽力されました関係の皆様に深く敬意を表しますとともに、大会のご成功を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ



横浜市長

林　　文子

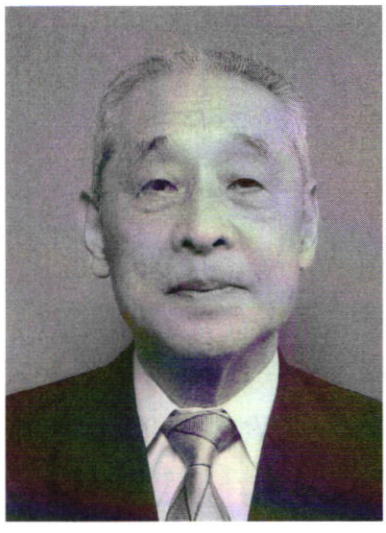
全国からお集まりの皆さん、ようこそ横浜へおいでくださいました。横浜市を代表しまして、「第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

皆さんが試合を繰り広げるここ横浜は、バドミントン日本発祥の地とされています。公益財団法人日本オリンピック委員会の公式Webサイトによりますと、英国で生まれたバドミントン競技は、1921年頃、横浜に伝えられたそうです。その後、バドミントンは、横浜から全国各地へ伝わり、今では、日本中で親しまれるスポーツとなっています。このように、横浜に縁の深いスポーツの大会が開催されますことを大変光栄に思います。

さて、選手の皆さんにとって、本日の大会を、学生生活の集大成と位置付けている方もいることでしょう。これから行われる試合では、ダブルスのペアと力を合わせ、これまでの練習の成果を思う存分発揮してください。また、暑い中での試合になりますので、どうぞ健康管理には気を付けてプレーをしてください。本大会が、皆さんにとって学生時代のいちばんの思い出となることを願います。

最後に、本大会の開催に御尽力された関係者の皆様に敬意を表しますとともに、本大会の御成功をお祈りいたします。

ごあいさつ



神奈川県バドミントン協会
会長 **杉田　博**

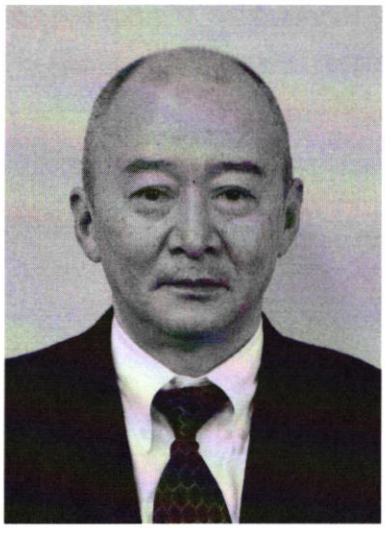
皆様既にご存じのように、第28回世界男子バドミントン選手権大会トマス杯争奪国別対抗戦に於いて、日本が見事に優勝を果たしました。第3回大会に初参加・初挑戦してから悲願達成まで60年が経っています。この間の日本バドミントン協会を始め、あらゆる分野でサポートして下さった方々、協会を支えて下さったバドミントン愛好者の皆様、そして監督・コーチ・選手の皆様に愛好者の一人としてたくさんの「ありがとう」を言いたいと思います。

この興奮が冷めやらぬこの時期、第2回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が横浜の日本体育大学健志台校舎米本記念体育館で開催されますことを誇りに思い歓迎いたしたいと存じます。

ミックスダブルスは、日本では1940年頃まで蔑視されていましたが、現在では立派な種目となり覇を競われています。いままで大学生には種目としてないために練習の場が殆どなかったと思われます。しかし、本大会が設立され全日本総合選手権大会への道が開かれました。優秀な成績を収め、全日本総合選手権大会での活躍を期待しています。是非、次世代を担う素晴らしい選手になって欲しいと願っております。

本大会開催にあたり、いろいろとご準備・運営にあたられる関係者の皆様に深甚の謝意を表し、併せて大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばとさせていただきます。

ごあいさつ



関東学生バドミントン連盟
会長 **宮崎重勝**

梅雨が明け、連日、暑い日が続く中、昨年に続き日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館に於いて、第２回、全日本学生バドミントンミックスダブルス大会が、関係各位の協力を得て、開催の運びとなりました。

昨年は第１回ということで、何から何まで、初めてのことで、役員一同四苦八苦の中、何とか無事終えることが出来ました。昨年の経験者も残る関東学生連盟主管で行われますので、昨年以上の盛り上がりを期待するところですが、切角のオールジャパンへの出場を、かけた大会ですので、観客動員に力を入れたく思います、選手の皆様には、どうぞ怪我のないよう、切符を手に入れるべき、白熱した試合が展開されることを期待します。

最後になりましたが大会開催にあたり、準備に、協力いただいた全日本学生連盟、関東学生連盟の役員の皆様をはじめ関係各位に感謝申し上げ挨拶と致します。

ごあいさつ



関東学生バドミントン連盟
委員長 **西　　正記**

第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス大会が、各地区により、多数の選手・役員のもと神奈川県横浜市において盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

本大会は、全日本総合バドミントン選手権大会の出場権をかけた大事な大会でもあります。２日間ですが、どうか選手の皆様が健康管理に気をつけ、マナーを守り、日頃の成果を十分に発揮され、白熱した試合が繰り広げられることを期待しております。

また、本年度は東日本大会・西日本大会があり、全日本学生バドミントン選手権大会においては愛知県で開催されます。どうか皆様のあたたかいご声援お願い致します。

関東学生バドミントン連盟では、大会役員として選手の皆様が試合に集中できる環境になるように精一杯努力していく所存でございます。

最後になりましたが、今大会が開催されるに当たり、ご支援、ご協力いただきました関係者各位の皆様方に深く感謝申し上げて、あいさつとさせていただきます。

大　会　役　員

大会会長	(公財)日本バドミントン協会	会長	綿貫民輔
大会名誉副会長	全日本学生バドミントン連盟	名誉会長	堀江　繁
大会会長	全日本学生バドミントン連盟	会長	関根義雄
大会副会長	(公財)日本バドミントン協会	副会長	籾井勝人
	(公財)日本バドミントン協会	専務理事	今井茂満
	全日本学生バドミントン連盟	副会長	中原住雄
	全日本学生バドミントン連盟	副会長	宮崎重勝
	北海道学生バドミントン連盟	会長	金田隆一
	東北学生バドミントン連盟	会長	北見正伸
	関東学生バドミントン連盟	会長	宮崎重勝
	関西学生バドミントン連盟	会長	中原住雄
	中部学生バドミントン連盟	会長	天野博江
	中国・四国学生バドミントン連盟	会長	矢野　潤
	九州学生バドミントン連盟	会長	外本伸治
	神奈川県バドミントン連盟	会長	杉田　博
	(公財)日本バドミントン協会	派遣理事	村元英美

大会顧問	森　喜朗	関谷勝嗣	森田　一	林　芳正
	村上忠治	橋本角市	権田正一	原二三雄
	清水規矩雄	平田登志朗	青木昭二	毛利清志
	福田　武	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一
	牧野　武	村山幸雄	濵中　誠	
	福岡幸一	岡本武利	本郷節生	三宅祐司
	野村嘉明	里見光徳	山根　怜	佐藤芳郎
	竹林克彦	油井秀男	木村　寛	遠井稔男
	岡村英男	川島一郎	板垣隆房	星野忠男
	藤本　滋	加藤寛治	原　紀征	鈴木勝之
	中山紀子	藤原　航	真壁幹雄	

大会参与	野村安忠	築地孝彦	三井　裕	神戸　照
	木戸純一	濱中　勉		
	遠藤　隆	林　忠男	平井克英	林　直樹

大　会　役　員

大会委員長

全日本学生バドミントン連盟　委員長　山口　颯

大会副委員長

全日本学生バドミントン連盟　副委員長　西　正記
全日本学生バドミントン連盟　副委員長　松井健吾
神奈川県バドミントン協会　理事長　近藤勇司

大会委員

今井茂満	阿部秀夫	河野幸男	佐竹養一
高橋英夫	西村健二	山田順一郎	小野　理
帰山好和	芝スミ子	民谷千寿子	能登則男
河崎正紀	坂上　昭	銭谷欽治	千葉健夫
村元英美			
浅岡　武	上原信彦	藤原和文	
菊地利明	坂本勝司	近藤和朗	歌川寿子
羽隅弘治	近藤勇司	木下洋一	中山廣明
杉田良子	浅見　勇	桜田豊治	五十嵐功
高木真人	鶴見和彦	鰐川　朗	木下和代
鈴木唯夫	加藤みや子	井田満男	熊切光成
遠藤　隆	林　忠男	平井克英	林　直樹

競　技　役　員

レフェリー (競技役員長)	(公財) 日本バドミントン協会	公認レフェリー	宮路秀憲
デピュティーレフェリー (総務部長)	関東学生バドミントン連盟	委員長	西　正記
	全日本学生バドミントン連盟	副委員長	松井健吾
総務副部長	関東学生バドミントン連盟	副委員長	井出陽子
	関東学生バドミントン連盟	副委員長	清川里香
	関東学生バドミントン連盟	会計	後藤巴那
総務委員	山口　颯	山岸紗千	松井健吾	佐藤　響
	清和真理子	嶋崎　幹	安田万里	柴田里沙
	濱崎美夢			
デピュティーレフェリー (競技審判部長)	(公財) 日本バドミントン協会	公認レフェリー	山本秀和
	関東学生バドミントン連盟	副会長	遠藤　隆
競技審判副部長	関東学生バドミントン連盟	常任委員	木村莉乃
	関東学生バドミントン連盟	常任委員	平田　昇
競技委員	木村　莉乃	池田岳弘	鈴木雄登	村本侑加理
	白石　将大	平田　昇	井出陽子	後藤巴那
	野中　佑紀	清川里香	天野祐作	前田　聖
	塚本　耕太	丸谷千夏	清水詩織	森田真衣
	久保田　猛			
審判員	関東学生バドミントン連盟　加盟大学バドミントン部員 日本体育大学バドミントン部員			

大　会　要　項

1. 大会の名称　第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
2. 主催団体名　公益財団法人日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟
3. 主管団体名　関東学生バドミントン連盟、神奈川県バドミントン協会
4. 後援　文部科学省、神奈川県、神奈川県教育委員会、公益財団法人神奈川体育協会、横浜市、横浜市体育協会
5. 期日　平成２６年８月２日（土）～８月３日（日）
6. 会場　日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館
   〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1
   TEL：045-963-7900 FAX：045-963-7903
7. 日程　８月２日（土）　９：００ 代表者会議
   １０：００ 開会式
   １０：３０ 試合開始（１～４回戦）
   ３日（日）　１０：００ 試合開始（準決勝・決勝）
   表彰式、閉会式（競技終了後）
8. 種目　混合複
9. 競技規則　平成２６年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による
10. 競技方法　トーナメント方式とし３位決定戦は行わない。
11. 使用道具　（公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び平成２６年度第１種検定合格水鳥球を使用する
12. 参加資格　平成２６年度（公財）日本バドミントン協会及び全日本学生連盟に登録しており、下記に該当する者
    （１）平成２５年度第６４回全日本学生バドミントン選手権大会男女ダブルスでベスト３２以上の選手
    （２）全日本学生バドミントン連盟に推薦された選手（若干名）
    （３）各地区学生連盟に推薦された選手
    推薦による枠数は以下の通りとする
    北海道２組　東北２組　関東２組　中部２組　関西２組
    中四２組　九州２組
    （４）（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること
13. 組合せ　（公財）日本バドミントン協会指名の競技役員長（レフェリー）、競技審判部長（デピュティ－レフェリー）と主管団体及び全日本学生バドミントン連盟との間で厳正に執り行う。
14. 参加費納入方法　（１）１組６，０００円
    （２）各地区学生連盟で一括して関東学生連盟の下記口座に納入すること。
    振込先みずほ銀行青葉台支店（３９５）
    口座番号２０３１５２９
    口座名義関東学生バドミントン連盟（代表宮崎重勝）
    会計責任者後藤巴那（ｺﾞﾄｳﾊﾅ）　携帯090－8086-6751
    納入開始日及び締切日平成２６年６月３０日(月）～７月５日（土）
15. 申込書送付方法　（１）申し込み締め切り平成２６年７月９日（水）必着
    （２）全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書に必要事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて下記宛て送付すること。
    （３）「入力したファイル」を３部印刷し、各々を正・副・控として『都道府県協会会長印を捺印』の上、各地区学連が一括して下記「申込場所」宛て送付すること。

大　会　要　項

16. 申込場所　（1）正　〒150-8050 東京都渋谷区神南１－１－１ 岸記念体育会館内
公益財団法人日本バドミントン協会事務局宛
（2）副　〒227-0035 横浜市青葉区鴨志田町５６０－５
サンヒルズ金子３０３号室気付
第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
事務局宛
（3）控各地区学連で保管のこと（大会当日持参のこと）

17. 申込締切り　（1）入力した「申し込みファイル」７月９日（水）２４時必着
（2）印刷した「正・副」７月１５日（火）必着

18. 表彰　（1）優勝・準優勝及び３位には（公財）日本バドミントン協会より金メダル、銀メダル、銅メダルを授与する。
（2）優勝から第３位までの選手に表彰状を授与する。

19. 大会事務局　所在地　〒２２７－００３５
横浜市青葉区鴨志田町５６０－５ サンヒルズ金子３０３号室気付
第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会事務局
関東学生バドミントン連盟委員長西正記（０９０－１８１８－２４４６）

20. 宿泊　宿泊斡旋は行わない。各自で宿泊先を確保下さい。

21. 着衣　色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面には大学名を必ず明示すること（全日本学生バドミントン連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』を参照のこと）。
また、ゼッケンを使用する場合には、横30 cm 縦15 cm を基準とし、必ず四隅を固定すること。

22. 備考　（1）競技者（部長、監督、コーチ、主将、主務、選手）は
必ず（公財）日本バドミントン協会登録会員であること。
（2）競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は、必ず室内シューズを着用すること。
（3）事故があった場合には、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。
（4）各大学は、代表者会議に１名、開会式には選手全員が必ず出席すること。
（5）病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。
（6）大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
（7）（公財）日本バドミントン協会環境委員会からのお願い
①開催地のゴミの分別収集にご協力下さい。（ゴミは各大学で責任をもって持ち帰って下さい。）
②宿泊先の部屋から出る時には必ず、エアコン、テレビ、ライトのスイッチを消して下さい。
③マイ歯ブラシを持参して大会に参加して下さい。
※１.ベスト４までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複本戦に推薦する。
※２.ベスト８までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複予選に推薦する。

以上

競技・審判上の注意

1.競技上の注意

1）競技規則等について
本大会は、平成２６年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程および全日本学生バドミントン連盟の大会要項により行います。

2）選手の集合について
各大学・選手は、初日の受付時間に受付を済ませて下さい。試合のコール後、速やかに 直接コートに集合してください。 また、コール後５分以上経過してコートに選手が揃わない場合には棄権とみなす場合もあります。あらかじめ棄権がわかっている場合には、代表者会議の際に申し出てください。
(所定の棄権届出用紙に必要事項を記載し、提出していただきます)

3）練習時間について
試合開始前の練習は時間は設けません。開場後、空きコート・体育館内でシャトルを打っての練習や素振り等の練習はできません。

4）連続試合の間隔について
連続試合の場合の試合間隔は 15 分とする。

5）インターバルについて
すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが１１点になったとき、６０秒を超えない インターバルを認め、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に、１２０秒を超えないインターバルを認めます。(競技規則第１６条第２項)

6）アドバイスについて
シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ中にアドバイスを受けることができます。コーチは、許可されたインターバルを除き、指定された椅子に着席するものとし、チェンジエンズの都度、帯同するサイドへの移動をお願いいたします。

7）競技時のプレーヤーの服装について
色付き着衣を使用する場合は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とします。(大会運営規程第２３条)また、上衣の背面中央に所属する大学名をはっきり確認できるよう明示してください。ゼッケンを使用する場合には四隅をしっかりと固定してください。

8）シャトルについて
シャトルは、第１種検定合格品を使用し、銘柄の変更には応じられません。

9）携帯電話について
競技者は、マッチ(試合)中のコートまたは、コート周辺ではモバイル機器の電源はオフにしてください。
また、コーチ席やベンチにおいても、モバイル機器の使用は禁止します。

10）プレーヤー以外の競技者
部長、監督、コーチ、主務についても、マッチ（試合）に相応しい服装で望んでください。

2.審判上の注意

1）審判の担当について
主審は主管者で行います。
個人戦（１～４回戦）の線審は、初回の試合は主管者で行いますが、以降の試合については、敗者の方が線審を行ってください。準決勝以降の試合はすべて主管者側でおこないます。得点表示は、両チーム相談の上、行ってください。ご協力をお願いいたします。

2）審判の担当について
プレーヤーは競技規則第１６条第２項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはなりません。 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。なお、給水の容器についてはフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。缶や紙パックのドリンクの持ち込みは禁止とします。

3）プレーヤーの遅延について
プレーヤーは、どんなことがあっても体力や息切れを回復できるように、またはアドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはなりません。 また、コート内を不必要に歩き回 ったりすることは許されません。

4）コートの外からのアドバイスについて
シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーは マッチ（試合）中、アドバイスを受けることができます。

競技・審判上の注意

5）プレーヤー以外の競技者がコートに入ることについて
プレーヤー以外の競技者は、原則としてコートに入ってはなりませんが、競技規則 第１６条第２項に定めるインターバルでは、どちらのサイドも 同時に２人までコートに入ることができます。これは、エンドを替えた後入り、主審が「・・・２０秒」とコールしたらコートを離れるものとします。

6）シャトルの交換について
マッチ(試合)中のシャトルの交換は、主審が必要かどうかを決定します。

7）不品行な振舞いについて
競技規則第１６条 第４項、第５項、第６項のいかなる違反に対しても、主審は次の処置をとります。
(１)違反したサイドに警告をします。
(２)一度警告の受けた後、再び違反した場合は、そのサイドをフォルトにします。
(３)目に余る不品行な振舞いをしたり、またはそれを続けたりした場合には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長(レフェリー)に報告します。

8）判定への質問について
審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーに限り質問することが認められます。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。

9）マッチ（試合）中の棄権について
マッチ(試合)中に 選手から棄権の申し出があったときには、主審は直ちに 競技役員長(レフェリー)に報告します。

10）線審の判定について
線審は 担当ラインについて、「イン」・「アウト」・「判定できない」を判定し、合図をしてください。 また、アウトのときは、大きな声で「アウト」とコールしてください。

3.その他の注意

1）部旗・応援旗の掲示について
部旗等は競技に支障をきたさない大きさのものを使用してください。競技に支障をきたすと判断される場合には、移動をお願いいたします。また、部旗等は観覧席に掲示するものとし、貼り付ける場合にはガムテープ等は使用せず必ずひもを使用してください。

2）ロージンの使用について
ロージンを使用する際はフロアにビニールを敷いて、さらに袋に入れて使用するようにして下さい。

3）ビデオ撮影について
試合中のビデオ撮影は、バッテリー使用による撮影のみ認めます。 体育館内の 電源を使用することは禁止します。

4）ごみについて
大会中に発生したごみは、本部が設置するごみ袋に捨て、会場のごみ箱は使用しないで下さい。また、館内の自販機以外で購入したペットボトルは、必ずお持ち帰りください。

5）喫煙について
会場内での喫煙は、館外に指定された場所以外では絶対吸わないでください。トイレで喫煙するような行為があれば、大会が続行できませんので絶対しないでください。

6）飲食について
アリーナ内での飲食は禁止します。

7）その他
①フロアー内は土足禁止です。 フロアー内では必ず室内シューズを着用してください。
②雑巾をフロアに持ち込む場合はフロアを保護するものを下に敷いて下さい。
③貴重品は各自で管理して下さい。盗難・紛失には責任を負いません。
④試合結果の配布は、競技終了後準備ができ次第放送で連絡致します。
⑤スポーツ傷害保険に加入しています。ケガ等あった時は本部まで連絡して下さい。

大　会　日　程

8月2日(土)	日本体育大学健志台キャンパス 米本記念体育館	
	代表者会議	9時より
	開会式	10時より
	1～4回戦	10時30分より

8月3日(日)	日本体育大学健志台キャンパス 米本記念体育館	
	準決勝・決勝	10時より
	表彰式・閉会式	(競技終了後)

タイムテーブル

タイムテーブルⅠ	第1日目【8月2日(土)】
	日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館

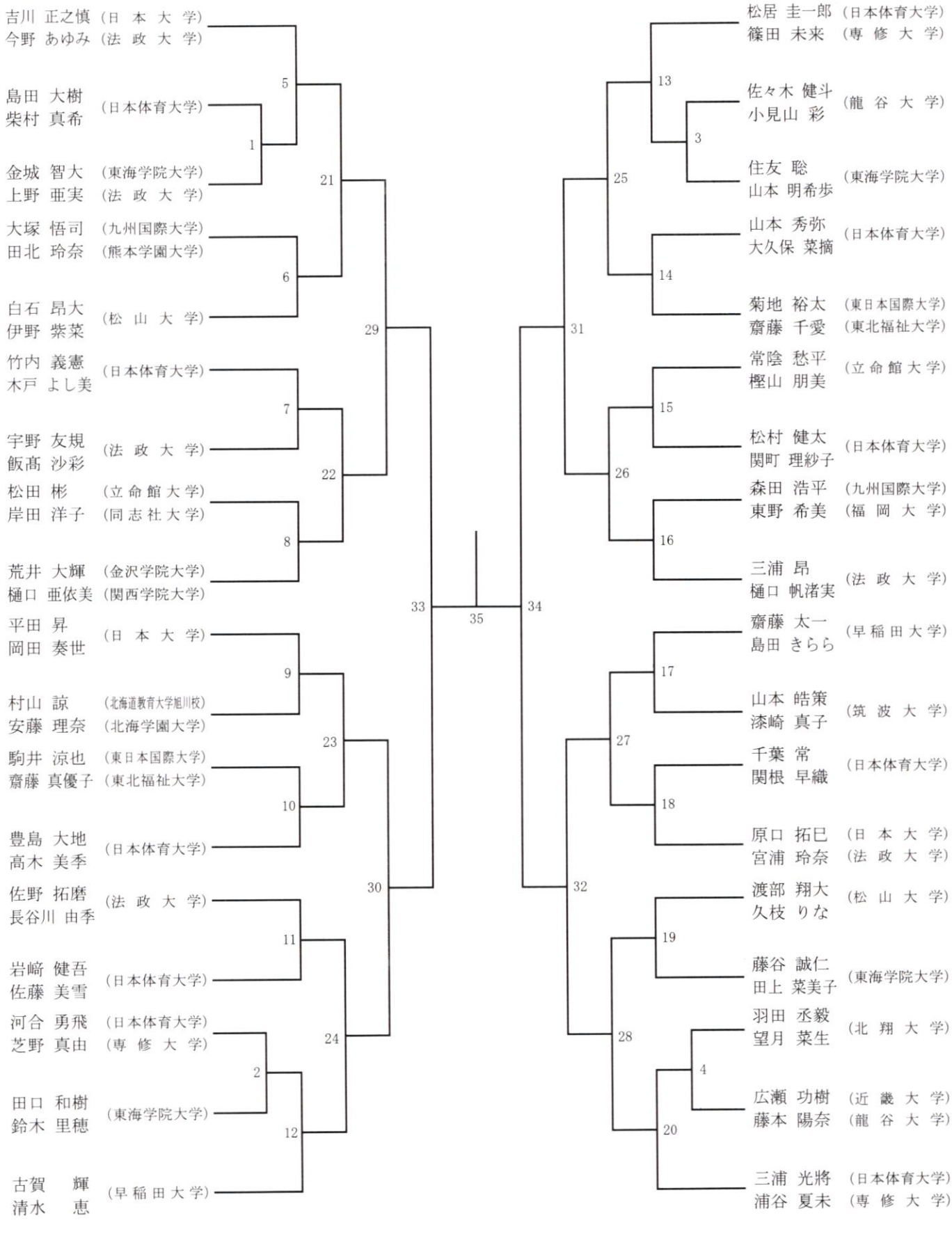
コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10：30～	1	2	3	4								
	6	7	8	9	10	11	14	15				
	16	17	18	19	5	12	13	20				
	21	22	23	24	25	26	27	28				
	29	30	31	32								

※試合の進行によりコートを変更して行う場合もある。
※試合が連続する場合は１５分間の時間をあけて行う。

タイムテーブルⅡ	第2日目【8月3日(日)】
	日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館

コート					5	6	7	8				
10：00～					33		34					
						35						

組　合　わ　せ


吉川 正之慎 (日 本 大 学)
今野 あゆみ (法 政 大 学)
島田 大樹
柴村 真希 (日本体育大学)
金城 智大 (東海学院大学)
上野 亜実 (法 政 大 学)
大塚 悟司 (九州国際大学)
田北 玲奈 (熊本学園大学)
白石 昂大
伊野 紫菜 (松 山 大 学)
竹内 義憲
木戸 よし美 (日本体育大学)
宇野 友規
飯髙 沙彩 (法 政 大 学)
松田 彬 (立 命 館 大 学)
岸田 洋子 (同 志 社 大 学)
荒井 大輝 (金沢学院大学)
樋口 亜依美 (関西学院大学)
平田 昇
岡田 奏世 (日 本 大 学)
村山 諒 (北海道教育大学旭川校)
安藤 理奈 (北海学園大学)
駒井 涼也 (東日本国際大学)
齋藤 真優子 (東北福祉大学)
豊島 大地
高木 美季 (日本体育大学)
佐野 拓磨
長谷川 由季 (法 政 大 学)
岩﨑 健吾
佐藤 美雪 (日本体育大学)
河合 勇飛 (日本体育大学)
芝野 真由 (専 修 大 学)
田口 和樹
鈴木 里穂 (東海学院大学)
古賀 輝
清水 恵 (早 稲 田 大 学)
松居 圭一郎 (日本体育大学)
篠田 未来 (専 修 大 学)
佐々木 健斗
小見山 彩 (龍 谷 大 学)
住友 聡
山本 明希歩 (東海学院大学)
山本 秀弥
大久保 菜摘 (日本体育大学)
菊地 裕太 (東日本国際大学)
齋藤 千愛 (東北福祉大学)
常陰 愁平
樫山 朋美 (立 命 館 大 学)
松村 健太
関町 理紗子 (日本体育大学)
森田 浩平 (九州国際大学)
東野 希美 (福 岡 大 学)
三浦 昂
樋口 帆渚実 (法 政 大 学)
齋藤 太一
島田 きらら (早 稲 田 大 学)
山本 皓策
漆崎 真子 (筑 波 大 学)
千葉 常
関根 早織 (日本体育大学)
原口 拓巳 (日 本 大 学)
宮浦 玲奈 (法 政 大 学)
渡部 翔大
久枝 りな (松 山 大 学)
藤谷 誠仁
田上 菜美子 (東海学院大学)
羽田 丞毅
望月 菜生 (北 翔 大 学)
広瀬 功樹 (近 畿 大 学)
藤本 陽奈 (龍 谷 大 学)
三浦 光將 (日本体育大学)
浦谷 夏未 (専 修 大 学)
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35

選　手　名　簿

有資格者（平成25年全日本選手権大会ベスト32）		
1	古賀　輝	早稲田大学
	清水　恵	早稲田大学
2	齋藤　太一	早稲田大学
	島田　きらら	早稲田大学
3	松居　圭一郎	日本体育大学
	篠田　未来	専修大学
4	三浦　光將	日本体育大学
	浦谷　夏未	専修大学
5	竹内　義憲	日本体育大学
	木戸　よし美	日本体育大学
6	豊島　大地	日本体育大学
	高木　美季	日本体育大学
7	山本　秀弥	日本体育大学
	大久保　菜摘	日本体育大学
8	河合　勇飛	日本体育大学
	芝野　真由	専修大学
9	岩﨑　健吾	日本体育大学
	佐藤　美雪	日本体育大学
10	吉川　正之慎	日本大学
	今野　あゆみ	法政大学
11	平田　昇	日本大学
	岡田　奏世	日本大学
12	金城　智大	東海学院大学
	上野　亜実	法政大学
13	佐野　拓磨	法政大学
	長谷川　由季	法政大学
14	三浦　昂	法政大学
	樋口　帆渚実	法政大学
15	宇野　友規	法政大学
	飯髙　沙彩	法政大学
16	荒井　大輝	金沢学院大学
	樋口　亜依美	関西学院大学
17	松田　彬	立命館大学
	岸田　洋子	同志社大学
18	広瀬　功樹	近畿大学
	藤本　陽奈	龍谷大学
19	常陰　愁平	立命館大学
	樫山　朋美	立命館大学
20	藤谷　誠仁	東海学院大学
	田上　菜美子	東海学院大学

全日本学連及び各地区推薦選手			
1	原口　拓巳	日本大学	全日本
	宮浦　玲奈	法政大学	
2	松村　健太	日本体育大学	
	関町　理紗子	日本体育大学	
3	千葉　常	日本体育大学	
	関根　早織	日本体育大学	
4	村山　諒	北海道教育大学旭川校	北海道
	安藤　理奈	北海学園大学	
5	羽田　丞毅	北翔大学	
	望月　菜生	北翔大学	
6	菊地　裕太	東日本国際大学	東北
	齋藤　千愛	東北福祉大学	
7	駒井　涼也	東日本国際大学	
	齋藤　真優子	東北福祉大学	
8	島田　大樹	日本体育大学	関東
	柴村　真希	日本体育大学	
9	山本　皓策	筑波大学	
	漆崎　真子	筑波大学	
10	佐々木　健斗	龍谷大学	関西
	小見山　彩	龍谷大学	
11	渡部　翔大	松山大学	中四国
	久枝　りな	松山大学	
12	白石　昂大	松山大学	
	伊野　紫菜	松山大学	
13	住友　聡	東海学院大学	中部
	山本　明希歩	東海学院大学	
14	田口　和樹	東海学院大学	
	鈴木　里穂	東海学院大学	
15	森田　浩平	九州国際大学	九州
	東野　希美	福岡大学	
16	大塚　悟司	九州国際大学	
	田北　玲奈	熊本学園大学	

秩父宮・秩父宮妃杯争奪　第64回全日本学生バドミントン選手権大会　結果

平成２５年１０月１９日(土)～１０月２４日(木)　　千葉ポートアリーナ
千葉公園体育館　千葉商科大学体育館

種目	MT 男子団体	WT 女子団体	MS 男子単	MD 男子複	WS 女子単	WD 女子複
参加数	32	32	95	96	96	95
優　勝	日本大学	法政大学	西本 拳太 (中央大学)	古賀 輝 齋藤 太一 (早稲田大学)	下田 菜都美 (龍谷大学)	田中 志穂 市丸 美里 (法政大学)
準優勝	早稲田大学	日本体育大学	堀内 研人 (法政大学)	松居 圭一郎 三浦 光將 (日本体育大学)	高木 美季 (日本体育大学)	平井 亜紀 山田 真央 (専修大学)
3　位	法政大学	関西学院大学	渡邊 達哉 (日本体育大学)	権藤 公平 塚本 好喜 (日本体育大学)	田中 志穂 (法政大学)	浦谷 夏未 篠田 未来 (専修大学)
	中央大学	東海学院大学	丸尾 亮太郎 (早稲田大学)	尾野 拓郎 間瀬 俊介 (法政大学)	高橋 真理 (龍谷大学)	今野 あゆみ 樋口 帆渚実 (法政大学)
5　位	明治大学	専修大学	山口 容正 (日本大学)	米田 健司 坂中 賢太 (近畿大学)	奥 幸那 (筑波大学)	本田 恵利奈 野村 有美 (北翔大学)
	日本体育大学	北翔大学	島田 大輝 (日本体育大学)	星野 翔平 竹内 義憲 (日本体育大学)	福永 彩 (専修大学)	山本 架奈子 岡田 奏世 (日本大学)
	帝京大学	筑波大学	松居 圭一郎 (日本体育大学)	吉森 司 早野 博之 (金沢学院大学)	杉野 文保 (龍谷大学)	若田 美沙 樋口 亜依美 (関西学院大学)
	龍谷大学	立命館大学	長谷川 達也 (日本体育大学)	樋渡 元志 荒井 大輝 (金沢学院大学)	山川 莉歩 (日本大学)	亀田 楓 関川 容子 (早稲田大学)
9　位	北翔大学	同志社大学	松丸 大輝 (帝京大学)	三浦 昂 宇野 友規 (法政大学)	柴村 真希 (日本体育大学)	本郷 由貴 柴村 真希 (日本体育大学)
	青山学院大学	日本大学	顧 正賛 (東京情報大学)	東野 圭吾 大森 康平 (日本大学)	小森 愛美 (龍谷大学)	畠山 亜裕子 小林 美紀 (法政大学)
	筑波大学	青山学院大学	小森 洋佑 (中央大学)	平田 昇 吉川 正之慎 (日本大学)	大久保 敦美 (筑波大学)	河崎 綾佳 牧野 美咲 (龍谷大学)
	神奈川大学	関西大学	定宗 隆一郎 (筑波大学)	南 淳也 佐々木 豪史 (同志社大学)	佐藤 楓 (筑波大学)	岸田 洋子 深川 星慧 (同志社大学)
	金沢学院大学	龍谷大学	間瀬 俊介 (法政大学)	齋藤 謙太 武井 雄佑 (帝京大学)	山本 明希歩 (東海学院大学)	清水 恵 島田 きらら (早稲田大学)
	関西学院大学	早稲田大学	和田 治久 (早稲田大学)	伊藤 朋大 中井 翔太 (同志社大学)	山本 紗椰 (東海学院大学)	上野 亜実 長谷川 由季 (法政大学)
	九州国際大学	明治大学	遠藤 祐太 (帝京大学)	高野 将斗 宮嶋 航太郎 (明治大学)	本田 恵利奈 (北翔大学)	窓場 由加奈 飯高 沙彩 (法政大学)
	立命館大学	京都産業大学	尾野 拓郎 (法政大学)	渡邊 達哉 小林 晃 (日本体育大学)	酒瀬川 美波 (法政大学)	高橋 真理 小見山 彩 (龍谷大学)

※次ページ参照

第2回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会有資格者

1) 第64回全日本学生バドミントン選手権大会(2013.10.22-25)ダブルス32の者(但し、4年生は除く)
2) 上記以外に、全日本学連(若干名)と7地区(各2組)が推薦される

種目	MD		
	男子複		
参加数	96		
優勝	古賀 輝 齋藤 太一 (早稲田大学)	17位	本田 尚人 広瀬 功樹 (近畿大学)
準優勝	松居 圭一郎 三浦 光將 (日本体育大学)		常陰 愁平 松田 彬 (立命館大学)
3位	権藤 公平 塚本 好喜 (日本体育大学)		山中 一浩 海谷 慎吾 (中央大学)
	尾野 拓郎 間瀬 俊介 (法政大学)		松本 剛 森田 浩平 (九州国際大学)
5位	米田 健司 坂中 賢太 (近畿大学)		小林 俊也 櫻井 恵介 (明治大学)
	星野 翔平 竹内 義憲 (日本体育大学)		遠藤 祐太 加藤 一朗 (帝京大学)
	吉森 司 早野 博之 (金沢学院大学)		豊島 大地 山本 秀弥 (日本体育大学)
	樋渡 元志 荒井 大輝 (金沢学院大学)		千葉 常 河合 勇飛 (日本体育大学)
9位	三浦 昂 宇野 友規 (法政大学)		顧 正贇 伊藤 僚祐 (東京情報大学)
	東野 圭吾 大森 康平 (日本大学)		金城 智大 藤谷 誠仁 (東海学院大学)
	平田 昇 吉川 正之慎 (日本大学)		井上 翼 小澤 拓 (神奈川大学)
	南 淳也 佐々木 豪史 (同志社大学)		岩﨑 健吾 松村 健太 (日本体育大学)
	齋藤 謙太 武井 雄佑 (帝京大学)		長谷川 達也 藤巻 嵩寛 (日本体育大学)
	渡邊 達哉 小林 晃 (日本体育大学)		甲谷 望 佐野 拓磨 (法政大学)
	高野 将斗 宮嶋 航太郎 (明治大学)		浦井 唯行 松丸 大輝 (帝京大学)
	伊藤 朋大 中井 翔太 (同志社大学)		佐久間 浩平 山本 皓策 (筑波大学)

種目	WD		
	女子複		
参加数	95		
優勝	田中 志穂 市丸 美里 (法政大学)	17位	斉藤 麻彩 堂山 友里愛 (青山学院大学)
準優勝	平井 亜紀 山田 真央 (専修大学)		三納 英莉佳 藤田 璃子 (関西大学)
3位	浦谷 夏未 篠田 未来 (専修大学)		山中 千里 阿部 愛 (北翔大学)
	今野 あゆみ 樋口 帆渚実 (法政大学)		田上 菜美子 山中 佐弥香 (東海学院大学)
5位	本田 恵利奈 野村 有美 (北翔大学)		久保田 奈緒 上原 ちさと (東京女子体育大学)
	山本 架奈子 岡田 奏世 (日本大学)		大久保 菜摘 木戸 よし美 (日本体育大学)
	若田 美沙 樋口 亜依美 (関西学院大学)		坂本 唯香 金谷 佳純 (東海大学)
	亀田 楓 関川 容子 (早稲田大学)		瀬川 桜子 木村 瞳 (明治大学)
9位	本郷 由貴 柴村 真希 (日本体育大学)		公受 美帆 下田 菜都美 (龍谷大学)
	畠山 亜裕子 小林 美紀 (法政大学)		伊丹 美佐子 中尾 佳淑 (龍谷大学)
	河崎 綾佳 牧野 美咲 (龍谷大学)		柏木 七 樫山 朋美 (立命館大学)
	岸田 洋子 深川 星慧 (同志社大学)		佐藤 深雪 高木 美季 (日本体育大学)
	清水 恵 島田 きらら (早稲田大学)		河合 紫乃 酒瀬川 美波 (法政大学)
	上野 亜実 長谷川 由季 (法政大学)		藤本 陽奈 宮原 唯 (龍谷大学)
	窓場 由加奈 飯高 沙彩 (法政大学)		山本 紗椰 森山 晴捺 (東海学院大学)
	高橋 真理 小見山 彩 (龍谷大学)		芝野 真由 上代 沙奈絵 (専修大学)

平成25年度4年生(参加資格なし)

過 去 の 成 績

年	回	順位	名　前　（男　子）	大学名	名　前　（女　子）	大学名	開催地
2013	1	1	藤巻 嵩寛	日本体育大学	本郷 由貴	日本体育大学	東　京
		2	塚本 好喜	日本体育大学	関根 早織	日本体育大学	
		3	樋渡 元志	金沢学院大学	樋口 亜依美	関西学院大学	
		3	長谷川 達也	日本体育大学	木戸 よし美	日本体育大学	
2014	2	1					東　京
		2					
		3					
		3					
2015	3	1					
		2					
		3					
		3					
2016	4	1					
		2					
		3					
		3					
2017	5	1					
		2					
		3					
		3					
2018	6	1					
		2					
		3					
		3					
2019	7	1					
		2					
		3					
		3					
2020	8	1					
		2					
		3					
		3					
2021	9	1					
		2					
		3					
		3					
2022	10	1					
		2					
		3					
		3					
2023	11	1					
		2					
		3					
		3					
2024	12	1					
		2					
		3					
		3					

全日本学生バドミントン連盟　歴代委員長・副委員長名簿

年	回	委員長		副委員長			
昭和25	1	中野博吉	（法　大）	児玉　功	（明治大）	大圃秀生	（関学大）
26	2	中野博吉	（法　大）	児玉　功	（明治大）	大圃秀生	（関学大）
27	3	中野博吉	（法　大）			大圃秀生	（関学大）
28	4	本多養生	（立教大）			高谷芳明	（同志社大）
29	5	有馬英三	（立教大）			武田一徳	（関学大）
30	6	勝俣光博	（法　大）	鳴海国博	（日　大）	小林正太郎	（同志社大）
31	7	七尾邦彦	（明　大）			西　慶修	（関　大）
32	8	折井利彦	（立　大）				
33	9	関本宣治	（日　大）			田中康夫	（関学大）
34	10	春日　操	（明　大）	三浦秀夫	（慶　大）	西山政弘	（関　大）
35	11	石川千明	（立　大）				
36	12	今井国夫	（慶　大）				
37	13	原　紘一	（法　大）				
38	14	平林久志	（慶　大）	秦　浩	（立　大）		
39	15	秦　浩	（立　大）				
40	16	尾　健生	（明　大）				
41	17	二方忠英	（慶　大）	富橋末治	（法　大）		
42	18	渡辺清司	（慶　大）	木村　登	（明　大）		
43	19	柴原広守	（青学大）	本島義男	（明　大）		
44	20	本島義男	（明　大）	菅原　元	（慶　大）		
45	21	菅原　元	（慶　大）	谷浦　隆	（日体大）		
46	22	桐竹　賢	（早　大）	保坂佳人	（日体大）		
47	23	大胡田茂	（早　大）	池田茂樹	（専　大）		
48	24	中村和衛	（明　大）	白鳥路雄	（青学大）		
49	25	中島一雄	（日体大）	大川　章	（法　大）		
50	26	生田隆朗	（青学大）	栗　英剛	（中　大）		
51	27	栗　英剛	（中　大）	細田　仁	（慶　大）		
52	28	坂根清貴	（日体大）	鈴木三郎	（法　大）		
53	29	林　健二	（立　大）	渡辺雅人	（慶　大）	高橋清治	（日体大）
54	30	渡辺雅人	（慶　大）	川上隆康	（法　大）		
55	31	星野寛一	（日体大）	中原岳志	（青学大）		
56	32	稲垣　明	（明　大）	中原岳志	（青学大）	鈴木仁一	（日体大）
57	33	鈴木仁一	（日体大）	青木　孝	（慶　大）		
58	34	後藤啓三	（専　大）	上島康秀	（日　大）		
59	35	松岡典昭	（日体大）	小飼清統	（法　大）		
60	36	前田忠則	（中　大）	穂坂久夫	（明　大）	長沢伸二	（日体大）
61	37	前川正則	（中　大）	酒井　学	（専　大）	青山正伸	（法　大）
62	38	青山正伸	（法　大）	蘇田幹彦	（日　大）	園部一彦	（明　大）
63	39	園部一彦	（明　大）	矢野弘和	（中　大）	長島俊彦	（日　大）
平成1	40	長島俊彦	（日　大）	満岡博隆	（日体大）	百上幸一郎	（日　大）
2	41	百上幸一郎	（日　大）	清川芳隆	（日体大）		
3	42	清川芳隆	（日体大）	折茂由紀	（日体大）	久保田　剛	（法　大）
4	43	前田吉憲	（日　大）	山田浩司	（日体大）		
5	44	山田浩司	（日体大）	斉藤　実	（日体大）		
6	45	斉藤　実	（日体大）	山田彰誠	（千商大）		
7	46	山田彰誠	（千商大）	熊　淳志	（日体大）		
8	47	熊　淳志	（日体大）	前田真利	（日体大）		
9	48	前田真利	（日体大）	成田　剛	（中　大）		
10	49	成田　剛	（中　大）	門間寛幸	（日体大）		
11	50	門間寛幸	（日体大）	菊池淳平	（中　大）		
12	51	門間寛幸	（日体大）	菊池淳平	（中　大）		
13	52	今泉　渉	（日体大）	小久保　英	（東海大）		
14	53	今泉　渉	（日体大）	小久保　英	（東海大）		
15	54	長原正博	（中　大）	帰山広規	（日体大）	岡本一晃	（龍谷大）
16	55	帰山広規	（日体大）	熊本英治	（日　大）		
17	56	帰山広規	（日体大）	岩田　潤	（名学大）	西川弘憲	（大学大）
18	57	本多裕樹	（日体大）	石戸谷美希	（東女体大）	市橋尚之	（龍谷大）
19	58	石戸谷美希	（東女大）	橋本　進	（東海大）	横野　智	（関西大）
20	59	橋本　進	（東海大）	川上晃宏	（京産大）	六本木義弘	（日体大）
21	60	會澤文吾	（東海大）	谷山　塁	（大院大）	小松俊介	（早　大）
22	61	白鳥　卓	（明　大）	伊藤吉彦	（京産大）	松井夏希	（日　大）
23	62	大田春菜	（東女大）	梅村良平	（日体大）	児玉　翔	（龍谷大）
24	63	原島紗香	（日　大）	佐久間瞳	（日女体大）	児玉　翔	（龍谷大）
25	64	山岸紗千	（帝京大）	村岡　優	（東女体大）	河野　豊	（関西大）
26	65	山口　颯	（日体大）	西　正記	（東海大）	松井健悟	（近畿大）

主管学連の紹介

○は出場選手

関東学生バドミントン連盟					
役職	氏名	所属大学名	学年	XD	メッセージ
委員長	西　正記	東海大学	4		
副委員長	井出　陽子	日本女子体育大学	3		
副委員長	清川　里香	東京女子体育大学	3		
会計	後藤　巴那	日本体育大学	3		
常任委員	木村　莉乃	筑波大学	4		
常任委員	鈴木　雄登	法政大学	4		
常任委員	池田　岳弘	慶應義塾大学	4		
常任委員	山岸　紗千	帝京大学	4		
常任委員	村本　侑加理	日本体育大学	4		
常任委員	白石　将大	日本体育大学	3		
常任委員	平田　昇	日本大学	3	○	
常任委員	野中　佑紀	東海大学	3		
常任委員	天野　祐作	神奈川大学	2		
常任委員	塚本　耕太	法政大学	2		
常任委員	丸谷　千夏	日本女子体育大学	1		
常任委員	清水　詩織	法政大学	1		
常任委員	森田　真衣	東京女子体育大学	1		
常任委員	久保田　猛	東海大学	1		
常任委員	前田　聖	日本体育大学	1		
常任委員					全日委員長　山口　颯
常任委員					全日会計　濵﨑　美夢

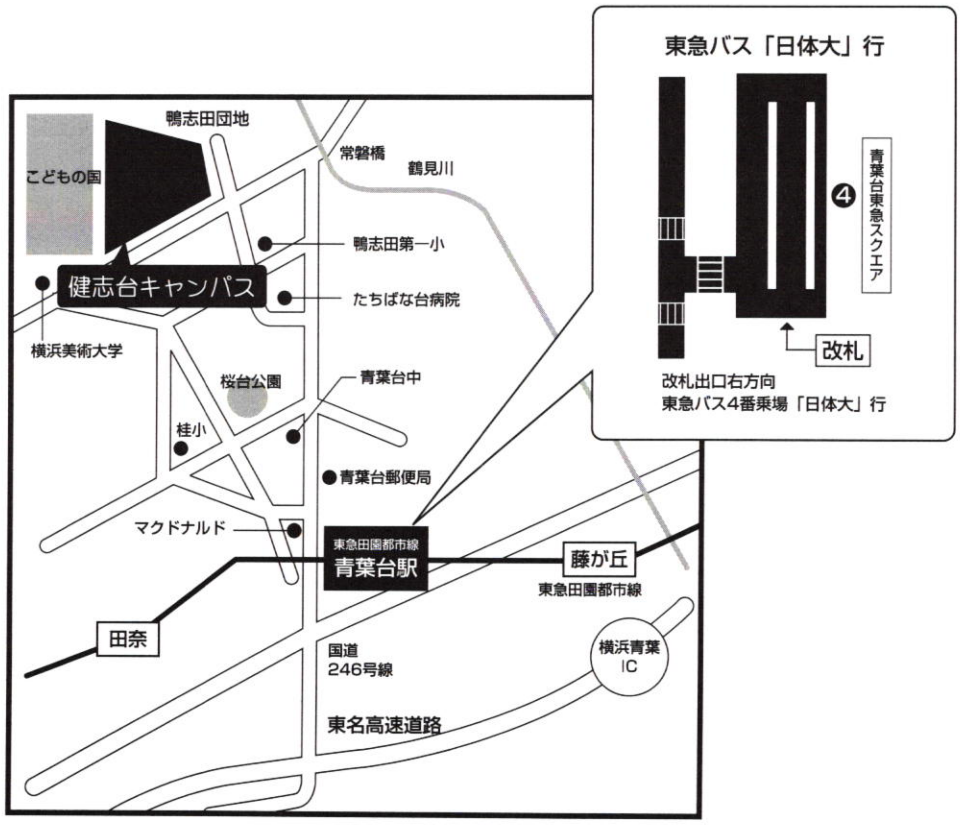
大会へ参加する選手の皆さんが最高のプレーを発揮できるよう、主管学連一同全力で運営に力を注ぎます。
また、この神奈川での第２回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が思い出に残るよう期待いたします。

会　場　案　内　図

日本体育大学

健志台キャンパス米本記念体育館

〒227-0033
神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1
TEL(045)－963－7900
FAX(045)－963－7903



①東急田園都市
「青葉台駅」下車
東急バス　61系統　日体大行き
終点下車

②小田急線
「柿生駅」下車
小田急バス
こどもの国・町田バスターミナル行き
日体大下車

大会運営規定一部変更

平成２５年５月１１日

加盟団体　　各位

公認レフェリー　　各位

公益財団法人　日本バドミントン協会

競技審判委員会

大会運営規程一部変更についての緊急通達

試合中のモバイル機器を使用したコーチングの禁止について

2012 年 12 月に BWF ではモバイル機器(iPad ・携帯電話等)を使用しての試合中のアドバイス・コーチングを禁止としました。

本会としても BWF ルールに基づき平成 25 年度 5 月 11 日以降の全ての大会においてモバイル機器使用による試合中のアドバイス・コーチングを禁止することとします。

(平成 25 年 5 月 11 日開催の理事会で決定)

大会運営に携わる競技役員特に日バ公認レフェリー及び、指導にあたる監督・コーチの方々は充分に理解し対応をお願いします。

以上

Badminton MAGAZINE

バドミントン・マガジン

競技者必携、国内唯一の専門誌

レッスン、イベント、グッズ、ピープル、チーム……。ビギナーから上級者、指導者まですべてのニーズに応える日本でただひとつのバドミントン専門誌





毎月22日発売
B5判
定価860円
(税込)

年間定期購読のご案内

送料無料・特別定価の差額サービス！
お得な年間定期購読をぜひご利用ください
※配送の都合上、お届けが発売日より遅れる場合があります。

購読料金 1年間(12冊)▶10,320円(税込)

定期購読のお申し込みは
電話で 0120-413490 FAXで 0120-594134
HPから http://www.sportsclick.jp/subscribe.html

ベースボール・マガジン社の バドミントン関連書



強くなるドリル・シリーズ
バドミントン
強豪校の秘練習法、教えます！

ヒント満載！名将の指導論＆強豪校の練習法を大公開！東大阪大柏原[大阪]／聖ウルスラ学院英智[宮城]／神戸村野工[兵庫]／関東第一[東京]／埼玉栄[埼玉]／勝山[福井]／日本橋女学館[東京]

■MOOK　定価(本体1,148円＋税)



トマス杯優勝&ユーバー杯準優勝記念号

ファン必見！ あの感動を誌面に凝縮！[最高峰の熱戦レポート／男女20選手クローズアップ／スタッフインタビュー／男女総括コラムほか]また、連続写真で見るJAPANの一流テクニックを掲載。舛田圭太コーチのプレミア解説で初級・中級選手でも上達のコツがわかる！

■バドミントン・マガジン7月号増刊　定価(本体926円＋税)



これで完ぺき！バドミントン

大堀 均 著[富岡高校バドミントン部監督]

ジュニア選手と指導者、必読！　各ショットとフットワークの基本ポイントを豊富な写真とイラストでわかりやすく解説。ノックやパターンなど練習メニューも多数紹介する、技術習得に役立つDVD付きの一冊！世界ジュニア王者の桃田賢斗、期待の星・大堀彩のプレー自己分析も掲載し、イメージアップがこれ一冊で完ぺきに！

■DVD-BOOK　価格(本体1,500円＋税)



片山卓哉の
バドミントン ボディ革命

片山卓哉 著

飛ばない、沈まない、うまくいかない。困ったときの解決法は？　元全日本王者の理学療法士が、できない理由をチェックして、対策法を伝授する。新しい切り口で、バドミントンの上達メニューを多数紹介。うまくなりたい選手、指導者、必読！

■書籍　定価(本体1,500円＋税)



バドミントン 初心者クリニック
スポーツバイブル・シリーズ

町田文彦 著

バドミントンの元全日本王者が、ビギナーのお悩みにわかりやすく答える、上達のヒントが詰まった一冊。好評ムックに、書き下ろし「試合のメンタルテクニック～さあ試合！ このとき、どうする？」を加えた新装版。

■書籍　定価(本体1,200円＋税)



ぐんぐんうまくなる！
バドミントン練習メニュー

小林重徳(関東第一高校バドミントン部監督) 著

初心者はもちろん、中級者～上級者をも対象にした、バドミントンの練習メニューを紹介。基礎技術の習得から実戦的なパターン練習・ノックまで多様なメニューをビジュアル解説した、指導者、プレーヤー必携の一冊！

■書籍　定価(本体1,200円＋税)



見てうまくなるバドミントン教本

(公財)日本バドミントン協会公式テキスト「バドミントン教本・基本編と応用編」の中から、特に競技力向上に必要な、戦法・技術・練習・トレーニングをわかりやすく映像化。世界の一流選手たちの高度なテクニックや戦法を満載、専門家による懇切丁寧な技術指導や幅広いトレーニングも！

■DVDカラー 155分　価格(本体4,000円＋税)



バドミントン 6歳児からのコーチングQ&A

(公財)日本バドミントン協会 編・著

指導者が知っておきたい、教えるべきこと、教えてはいけないこと！才能を伸ばすか、潰すかは紙一重。素朴な疑問から、専門的な難問まで57問。最新理論ですべて解決してくれる、指導者必携の一冊！

■書籍　定価(本体1,000円＋税)

BASEBALL MAGAZINE SHA
株式会社ベースボール・マガジン社
http://bookcart.sportsclick.jp/
受注センター 0120-911-410 (月～金10:00～12:00、13:00～16:00※除・祝祭日)

M E M O

ウェアキャンペーン

GAMEWEAR

吸汗速乾性・耐久性に優れたDRY生地
カラーが豊富なゲームウェア!!



ゲームウェア

ターコイズ

(税込) ¥2,500
■素材 ポリエステル100%

日本バドミントン協会
検定合格品



ホワイト　グレー　ブラック　ネイビー　パープル　ロイヤルブルー　ピンク　ホットピンク



レッド　オレンジ　デイジー　ライム　グリーン　バーガンディー　ライトピンク　ライトブルー　ライトイエロー　ミントグリーン



Tシャツ

ホットピンク

ゲームウェア同様のDRY生地
練習着や応援着に最適!!

(税込) ¥1,500
■素材 ポリエステル100%



ホワイト　グレー　ダークグレー　ブラック　ネイビー　パープル　ロイヤルブルー　ターコイズ　レッド



ピンク　オレンジ　デイジー　イエロー　ライム　グリーン　オリーブ　バーガンディー　ライトオレンジ　ライトピンク　ライトパープル　ライトブルー　ライトグリーン

オリジナルプリントサービス キャンペーン

【1版使用例】

プリント色1色で1版



新規ご注文の場合

製作期間は
デザイン・サイズ
枚数等確定後
約2週間

ゲームウェア		Tシャツ
プリント・製版代込み 1枚あたりの税込価格		
日本バドミントン協会 検定合格品		
¥3,900	5～9枚	¥3,200
¥3,500	10枚以上	¥2,800

新規作製後2回目以降追加注文の場合

過去1年以内にプリントウェアをご注文したことがある場合

ゲームウェア		Tシャツ
プリント代込み 1枚あたりの税込価格		
日本バドミントン協会 検定合格品		
¥3,000	5枚以上	¥2,300

※作製版の保存期間は最新ご注文より1年間となります。1年を超えた場合は新規でのご注文となりますのでご了承ください。

お問い合わせはこちら
薫風スポーツ株式会社 TEL：047-383-9311
info@kumpoo-sports.co.jp FAX：047-383-9312


facebook.com/YONEXBadmintonJapan
「自信を持って、
スマッシュを打ち込める。」
ヘンドラ・セティアワン
WORLD No.1
in the men's doubles
AHSAN & SETIAWAN
INDONESIA
「自分のプレーに、
マッチしていると感じた。」
モハマド・アッサン
#WeareNANORAY
Are You?
世界最強ペアの進化は止まらない。鋭角スマッシュを叩き込め。
どんな状況でも隙のない攻撃を続けるモハマド・アッサンと、守備から攻撃への切り替えが鋭いヘンドラ・セティアワン。
インドネシアの英雄ペアは、スピードを武器とした超攻撃型ダブルスで、6タイトルを制し世界の頂点へと登りつめた。
それでも彼らは、さらなる決定力を求め「ナノレイ900」とともに挑戦を続ける。
ナノメトリックを採用し、上部と下部は剛性を高く、中間部は広くシェイプした新構造フレームを搭載。
シャトルを押さえ込み、相手の足元へ素早く沈む、決定力の高い鋭角スマッシュを叩き込む。
MORE INFORMATION
yonex.co.jp
NANORAY 900
NEW | ナノレイ900／¥25,000＋税／日本製 ＊ BWF 世界ランキング1位［2014年5月8日現在］
YONEX